

海上自衛隊厚木航空基地でインターンシップ開催



自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 大谷三穂一等海佐）は、海上自衛隊厚木航空基地（大和市・綾瀬市）に所在する第4航空群の協力を得て、神奈川県内の高校生に対して行われたインターンシップを支援しました。8月2日（金）に行われたインターンシップには、神奈川県内の県立高校から13人の生徒が参加しました。最初に自衛隊制度の概要説明を受けた後、職場体験として航空管制隊でのシミュレーター体験を行いました。大画面に映し出される飛行場の風景を見ながら、「ピコック501」、「ターンレフトヘディング」など音声で航空機を誘導するなど、生徒たちは日常では味わえない体に感動していました。その後、航空管制塔で実際の業務を見学して昼食となりました。

海上自衛隊では毎週金曜日の昼食はカレーを食べる慣習があります。生徒たちは「待ちに待った海自カレー、美味しい！」と楽しそうに話しながらカレーを頬張っていました。

午後からは、衛生隊でAEDの実習体験を行い、参加した生徒は「現場に遭遇した際には、落ち着いて今回の体験を活かしたい」と話していました。

すべての職場体験を終えた後、参加した生徒からは「自衛隊という職場を十分に理解できて満足しました」などの感想が聞かれました。

神奈川地方協力本部では「今後も多くの方が自衛隊の活動に関心を持ってもらえるよう、部隊見学や各種イベントに積極的に取り組んでいきます」としています。

厚木航空基地盆踊りで『たま』も踊る！



南極の氷に冷たい!!



たまと敬礼

神奈川県地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、8月18日（日）、海上自衛隊厚木航空基地（大和市・綾瀬市）で実施された「厚木航空基地盆踊り2024」において、海上自衛隊第4航空群の支援を得て募集広報を実施した。

当日は、台風7号の影響で17日（土）からの順延実施となり、猛暑のなかであったが、基地内の「テイラーフィールド」及び「日米友好広場」等では屋台やイベントが実施され多数の来場者で賑わった。

午後5時40分からは日米の国歌奉唱が行われ、上空には日米の国旗を吊り下げたヘリコプターが会場周辺を飛行するなど厳かな雰囲気もあったが、全体に流れる「盆踊り」と「アメリカン」という不思議な雰囲気なのが、会場は笑顔であふれていた。

厚木募集案内所も自衛隊ブースを出展し、「南極の氷」体験や神奈川地本キャラクターの『たま』との触れ合いを実施し、多数の来場者に来ていただいた。「南極の氷」体験では、氷を触って「冷たい」「気持ちいい」といった大騒ぎの子供たちや、氷の持つ「ロマン」に「声にならない」と感慨にふける大人たちで大いに盛り上がった。また、『たま』が登場すると、あっという間に来場者に囲まれ、「かわいい」「写真とって」など、子供たちと一緒に踊ったり、敬礼したりと大いに親睦を深めた。その他、ブース内の自衛隊活動のパネル展示や自衛隊制度等の説明に熱心に耳を傾け、質問する来場者も見られ、各広報官は『交流』による自衛隊への理解促進と募集活動に汗を流した。

厚木募集案内所は「今後も交流による自衛隊の理解促進、防衛及び人的基盤の確立を図るため、あらゆる場所で募集広報活動を実施していく」としている。